

Press Release 2019.03.19.

トム・サックス ティーセレモニー Tom Sachs: Tea Ceremony

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は東京オペラシティアートギャラリーの展覧会活動に対して、格別なご高配、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。先にお知らせしました通り、東京オペラシティアートギャラリーでは、2019年4月20日〔土〕より6月23日〔日〕まで企画展「トム・サックス ティーセレモニー」を開催いたします。

展覧会の開催趣旨や内容について改めてご案内申し上げます。

本展は、独自のまなざしで日本の文化に深いリスペクトを向けるトム・サックスが、ティーセレモニー（茶会、茶道）に本格的に取り組む展覧会です。

また弊館の他にも、小山登美夫ギャラリー（六本木）、東京スタデオ（駒込）、ビームス 原宿（原宿）の3か所でもトム・サックスの展覧会およびポップアップストアを展開いたします。スタンプラリーも実施する予定ですので、ぜひ全会場をお楽しみいただき、東京中でトム・サックスを体感いただければ幸いです。


謹白

【開催概要】

- 展覧会名： トム・サックス ティーセレモニー
Tom Sachs: Tea Ceremony
- 会期： 2019年4月20日〔土〕－6月23日〔日〕
- 会場： 東京オペラシティ アートギャラリー
- 開館時間： 11:00－19:00（金・土は20:00まで／最終入場は閉館の30分前まで）
- 休館日： 月曜日（祝日の場合は翌火曜日、ただし4月30日は開館）
- 入場料： 一般1,400（1,200）円／大・高生1,000（800）円／中学生以下無料

*（ ）内は15名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

お問合せ： 03-5777-8600（ハローダイヤル）

 <https://www.facebook.com/tocag>   operacity_ag 

- 主催： 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 /
「トム・サックス ティーセレモニー東京展」実行委員会
- 特別協賛： 日本生命保険相互会社
- 協賛： 株式会社 ビームス
- 協力： 相互物産株式会社 / Galerie Thaddaeus Ropac / Vito Schnabel Projects /
株式会社東京スタデオ
- 企画協力： 小山登美夫ギャラリー

詳細はウェブサイトです。随時お知らせする予定です。 <http://www.operacity.jp/ag>

リリースに関するお問い合わせ
東京オペラシティ アートギャラリー 【展覧会担当】堀 / 福島 【広報担当】市川
Tel:03-5353-0756 / Fax:03-5353-0776 / Email: ag-press@toccf.com

トム・サックス「ティーセレモニー」展覧会について

2016年ニューヨークのノグチ美術館での展覧会のために制作された「トム・サックスティーセレモニー」は、2016年から2017年にかけて「Space Program: Europa」(2016-17)の一環としてサンフランシスコのイエルバ・ブエナ芸術センター、その後ナッシャー彫刻センター(2017-18)に巡回しました。日本の伝統的な茶の湯の世界とそれを取り巻く様々な儀礼や形式を独自の解釈で再構築した作品を制作するために、2012年から本格的に茶道を学び始めて以来、日本国内での発表を念頭に置いてきたサックス。東京オペラシティアートギャラリーでの展覧会は、サックス自身が切望していた、作品の起源である日本での初個展となります。本展の作品は体感型の空間として、庭(「内露地」「外露地」)、手作りの合板の茶室、ボーイング747機の設備をより機能的にしたトイレユニット(「雪隠」)、鯉が泳ぐ美しい佇まいの池、そして様々な門によって構成されます。

「古い伝統の真の発展を目指す」というイサム・ノグチの姿勢に着想を得て、それを実践すべく、サックスは茶碗や釜、柄杓、掛軸、花入れをはじめ、電動で動く茶筌(ちゃせん)や本来スポーツで使用されるショットクロック*1、電子式の火鉢などの、工業用素材や日用品といった身近な物で茶道具を自作し、独自の世界を創り出しました。会場に展示されるスペーパーやスクラップ素材から制作した、明治工芸の「自在*2」を連想させるザリガニの形をした銅製の置物や、500個を超える「不完全な美」を体現した手製の茶碗からも、サックスの茶道へのこだわりと深い興味がうかがえます。作品そのものに命を吹き込み、茶の文化の発展のための貢献を有意義なものとするのは、その根底にある遊び心だけでなく、作家自身の茶道という伝統的な文化に対する絶え間ないリサーチと制作への献身的な姿勢といえるでしょう。

*1 カウントダウンするストップウォッチ

*2 自由自在に部位を動かすことができる置物。複数の金属パーツや蝶番などを駆使して複雑な動きが再現できる。

ノグチ美術館シニア・キュレーターのダーキン・ハート氏は次のように述べています。「伝統的な茶道は長年かけて洗練されて成熟した状態になり、やがて体系化されて、その発祥以来連続と続く様々な伝統文化と同様、一旦完成しました。従来は16世紀の流行だったものが本格的な文化へと発展を見せたのは、それが一般的な経験の中に普遍的な価値観を見出したからです。茶道はもてなしの心を慈しみ、儀礼を通じて地域の発展やコミュニティの強化を促し、「地」「空」「火」「水」といった基本的な要素を取り入れながら、心身の世界との一体感や親密なつながりを見出し、自身を静かに見つめ直す機会を与えるものです。トム・サックスによる茶道はその無限の空間を探索することによって、新たな世代や観客層がこれらの価値観やそれを支える文化を体感できる、豊かで心動かされるプロジェクトなのです。」

展覧会では上記のインスタレーションに加え、今までにサックスが制作してきた様々な茶道具を紹介するとともに、茶の湯に取り組むきっかけとなった「Space Program 2.0: MARS」展(2012年)からの発展や歩みを振り返ります。また、今回上映される映像作品《ティーセレモニー》は、日々の暮らしや営みから派生した複雑なサブカルチャーに対するサックスの20年にわたる模索を反映したもので、本展のために特別に制作されたジオデシック・ドーム状のシアターで上映されます。

東京オペラシティアートギャラリーの会期初日には、サックス本人によるティーセレモニーが2回行われます。この時は特別に茶室の壁が取り払われ、展示室で公開される茶事をご覧いただくことができます。

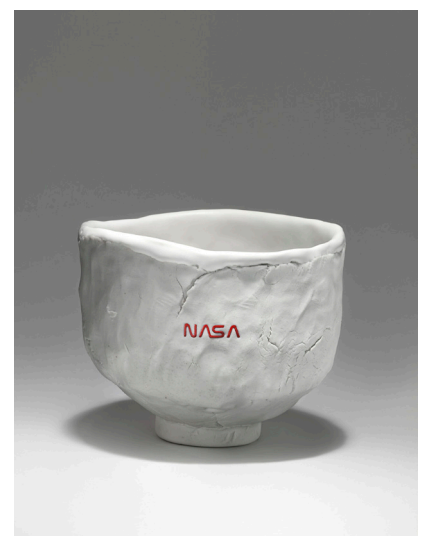
また、2016年の展覧会に合わせて、ニューヨークのノグチ美術館、ならびにイエルバ・ブエナ芸術センターとナッシャー彫刻センターの協力のもと、アーティストブック『ティーセレモニー・マニュアル』が制作されています。サックスの茶の湯に対する様々なリサーチや実践を280ページにわたって紹介しています。



Chasen, 2015. Copyright Tom Sachs. Image Credit Genevieve Hanson.



Shoburo, 2012. Copyright Tom Sachs. Image Credit Genevieve Hanson.



Theaster, 2017. Copyright Tom Sachs. Image Credit Genevieve Hanson.

トム・サックス 略歴

1966年 ニューヨーク州に生まれる。
 1987年 ロンドン英国建築協会附属建築学校（ロンドン）に学ぶ。
 1989年 ベントン大学（バーモント州）でB.A.を取得。

主な展覧会

「トム・サックス:ティーセレモニー」 ナッシャー彫刻センター／テキサス州ダラス（2017年）
 「Spece Program: Europa」 イエルバ・ブエナ芸術センター／カリフォルニア州サンフランシスコ（2016年）
 「トム・サックス:Boonbox Retrospective 1999-2016」 ブルックリン美術館／ニューヨーク（2016年）
 「トム・サックス:ティーセレモニー」 ノグチ美術館／ニューヨーク（2016年）
 「トム・サックス:Boonbox Retrospective 1999-2016」 ザ・コンテンポラリー・オースティン／テキサス州（2015年）
 リヨン・ビエンナーレ／フランス（2013年）
 「Spece Program: MARS」 パークアベニュー・アーモリー／ニューヨーク（2012年）
 「コルビュジエ・インスタレーション」 ヴェネチア・ビエンナーレ建築部門（2010年）
 「Logjam」 デイモンアートセンター／アイオワ州（2007年）
 「トム・サックス」 プラダ財団／イタリア・ミラノ（2006年）
 「トム・サックスーSurvey」 アストルップ・ファーンリ現代美術館／ノルウェー・オスロ（2006年）
 「NUTSY'S」 ドイツ・グッゲンハイム美術館／ドイツ・ベルリン（2003年）

美術館における主なパーマネント・コレクション

ニューヨーク近代美術館
 パリ国立近代美術館（ポンピドゥ・センター）
 ユダヤ博物館／ニューヨーク
 メトロポリタン美術館／ニューヨーク
 ソロモン・R・グッゲンハイム美術館／ニューヨーク
 ホイットニー美術館／ニューヨーク
 ロサンゼルス・カウンティ美術館（LACMA）
 アーマンド・ハマー美術館／ロサンゼルス
 サンフランシスコ近代美術館
 ほか



Bonsai, 2016 / *Stupa*, 2013. Copyright Tom Sachs.
 Courtesy of Tomio Koyama Gallery.



Tea House, 2016. Copyright Tom Sachs.
 Courtesy of Tomio Koyama Gallery.

【関連イベント Event】

ティーセレモニー

トム・サックスが行うティーセレモニーの様子をご覧いただけます。

日時:4月20日 [土] 12:00- / 14:30-

会場:東京オペラシティ アートギャラリー (展示室内)

観覧方法は当館ウェブサイトでお知らせいたします。

また参加状況により入場制限を行う場合があります。

【連動企画 Related Exhibitions】

トム・サックス「Smutshow」

小山登美夫ギャラリー

2019年4月20日 -5月25日

www.tomiokoyamagallery.com

トム・サックス「Indoctrination Center」

KOMAGOME 1-14 cas

2019年4月20日 -5月14日

www.tokyo-studio.co.jp/cas

「Tom Sachs Pop-Up Store」

ビームス 原宿

2019年4月19日 -5月6日

www.beams.co.jp

【特別企画 Special Event】

スタンプラリー

東京オペラシティ アートギャラリーと上記3つの会場を巡るスタンプラリーを実施します。

会場により会期、時間、休業日が異なりますのでご注意ください。

詳細は決まり次第当館ウェブサイトに掲載いたします。